



種名：クルメサヨリ *Hyporhamphus intermedius*

分類：在来種 汽水・海水魚

○大きさ

- ・成魚：15～30cm

○生息箇所(すみか)

- ・利根川下流部の河口から利根川河口堰の下流側に多い。
- ・全国的には比較的大きな河川の汽水域(きすいいき)に生息しています。

○生態(どんな生活をしているか)

- ・動物プランクトン等の小型の浮遊動物(カイアシ類やイサザアミ等)を食べる。主に表層を泳ぎ回っています。
- ・春から夏(5～8月)にアマモやコアマモ等の水生植物に卵を産みます。

○釣りや漁業

- ・ウキ釣りで釣れるようです。
- ・利根川ではサヨリに関する漁業は行われていないようですが、春先に定置網(ていちあみ)や刺し網(さしあみ)でとれるそうです。

○地域利用

- ・漁獲量が少ないため一般には出回っていないようです。
- ・利根川下流や霞ヶ浦では、春告げ魚として古くから利用されています。例えば、つみれ汁や丸干し、唐揚げ等があるそうですが、昨今は、魚を食べなくなってきたので見かけなくなってきたそうです。